

事例紹介

福祉と産業界をつなぐ活動基盤強化支援事業

起業支援型地域雇用創造事業【静岡県】

私たちは傍観者であってはならない！

働くことによって得られる4つの幸せ
「人にほめられること」「人の役に立つこと」
「人に必要とされること」「人に愛されること」

委託事業概要

(特)オールしずおかベストコミュニティは、障害のある人の働くことを支援する“就労相談窓口”、“情報提供”及び“授産事業の支援”等を行う「障害者働く幸せ創出センター」を管理・運営している。
本事業では、産業界に対する「障害者働く幸せ創出センター」の周知と活性化を図るとともに、障害福祉事業所における新商品開発を支援し、障害のある人の工賃水準向上につなげていく。

委託先

特定非営利活動法人
オールしずおかベストコミュニティ
従業員数44人

新たな
雇用創出数
(計画)

2人

委託事業費

約560万円(平成25年度)

委託事業
開始時期

平成25年5月

委託業務内容

<1> 障害者働く幸せ創出センター企業向け広報強化事業
創出センターは福祉分野からの周知状況に比べて、企業(産業界)からの周知度は十分ではなく、広報を強化していく必要がある。
企業向けの講演会等を開催し、創出センターの認知度を高めるとともに、障害のある人への支援にもつなげていく。

<2> ふじっぴー商品化展開事業
静岡県のキャラクターである「ふじっぴー」が、障害福祉事業所に限り、商品化(営利目的での使用)が認められるように使用規程が改正された。これを契機に新商品の開発等に力を入れ、障害のある人の工賃水準向上を図る。



(特)オールしずおかベストコミュニティ
坂本 光司理事長
(法政大学大学院 教授)

障害福祉事業所で作られた製品



あじのひらき鍋しき



パッチワークトート



抹茶黒豆パウンド



みかんはちみつ石けん

活動紹介

<1> 障害者働く幸せ創出センター企業向け広報強化事業

障害者雇用・障害者支援を考えている企業に対して、既存の取組等を紹介しながら、障害者雇用・障害者支援の情報・制度のポイントを伝え、その機運を高めていくとともに、創出センターの取組内容や活用方法をPRし、創出センターの機能認知・理解促進を図っていく。

- ①企業を対象とした講演会の開催
- ②企業が集まる会議・イベント等での障害者支援事業の周知



<2> ふじっぴー商品化展開事業

オールしずおかベストコミュニティから複数の障害福祉事業所に働きかけをし、分業等によりふじっぴーグッズの製造を発注し、これをオールしずおかベストコミュニティの商品として、県内の観光拠点等で販売する。(ぬいぐるみ、ストラップ等)

- ①空港や東名高速SAPAなどを対象に商品提案を行い販売場所の開拓確保
- ②これまでの共同製造体制のノウハウを活かした作業分担による商品企画を展開
- ③商品ごとに製造可能な作業所を募り、オールしずおかベストコミュニティの調整により商品を製造



ふじっぴー商品(ぬいぐるみ、ストラップ)

事業終了後の事業継続

・雇用継続への展開

●新規雇用者のスキル向上

障害者雇用に関する取組や授産事業への関与を通して、障害福祉事業に関する見識を高めていく。

●自主事業としての定着

(1)の講演会等の取組を通じて、企業に対して障害福祉事業及び(特)オールしずおかベストコミュニティへの理解拡大を図り、(特)オールしずおかベストコミュニティの企業会員等の増強(会費収入の増加)につなげていく。また、(2)のキャラクター商品化事業の基盤を固め、販売商品や販売箇所を拡大していき、自主事業としての定着を図るとともに、工賃水準の向上にも寄与する。